

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月16日(水)

事務事業		救急活動事務		担当課	花園消防課	担当係	花園消防署	管理番号	4525
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	中項目	1	備えができ安全・安心なまちづくり		根拠法令 個別計画等	・消防法			
	小項目	2	消防・救急体制の充実						
	主要プロジェクト								
事業概要		管内で発生した各種災害等により負傷した傷病者の状態を的確に判断し、必要な処置を施して適切な医療機関に搬送する。							
目的 ※何のために		傷病者の救命率及び社会復帰率の向上。							
対象 ※誰・何を対象に		市民の生命、身体及び財産。							
手段 ※どのように		各種災害現場までの現場到着時間と現場滞在時間（病院連絡時間）の短縮を図る。							
成果 ※何を求めるか		早期に医療機関へ搬送することで、傷病者の救命率と社会復帰率の向上を図る。							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）	
本事業の 主な業務		・救急等災害対応業務				・救命講習の実施			
		・救急資器材の維持管理業務				・			
		・救急訓練の立案、調整、実施に関する業務				・			
		・応急手当普及啓発業務				・			
		・救急活動事例研究				・			
		・救急活動記録票、統計及び即報の作成事務				・			

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	0	0	0	0	0	0
	決算額	0	0	0	0	0	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費	従事職員数（人）	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
	人件費相当試算※	777,900	778,200	786,100	813,600	776,192	813,135
総事業費試算		777,900	778,200	786,100	813,600	776,192	813,135

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	救急出場件数（暦年）		目標値	件						
			実績値		2807	2833	2736	2340	2802	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			救急出場件数であり目標値の設定に値しない。/出場件数						
	実績値の算出式									
活動指標 2	訓練・研修回数		目標値	回	20	20	20	20	20	20
			実績値		20	20	20	20	20	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			年間訓練計画に基づく目標値。（実施回数を計上。1回が数か月に渡るもの有。） / 実施回数						
	実績値の算出式									
活動指標 3	資器材点検実施率		目標値	%	100	100	100	100	100	100
			実績値		100	100	100	100	100	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			100%の資器材点検を目標とする。 / 実施日/365日×100						
	実績値の算出式									
成果指標 1	資器材常時使用可能率		目標値	%	100	100	100	100	100	100
			実績値		100	100	100	100	100	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			車載されている全資器材常時使用可能率。 / 使用可能数/全資器材×100						
	実績値の算出式									
成果指標 2	現場到着時間		目標値	分	0	7	7	7	7	7
			実績値		8.55	8.79	9.05	9.16	9.8	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			救命率が著しく低下していく時間（7.0分） / 覚知から現場到着までの時間（過						
	実績値の算出式									
成果指標 3	病院収容所要時間		目標値	分		43.6	43.6	43.6	43.6	43.6
			実績値		50.39	50.61	50.73	51.05	53.4	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			（参考）埼玉県平均病院収容時間43.6分（平成28年数値） / 覚知から病院収容までの時間（過						
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	出場件数は昨年度と比較して増加した。コロナ禍のため、感染防止対策の勉強会を実施した。また、始業前の資器材点検、使用後の資器材の消毒を徹底した。訓練・研修は、年度当初に策定した年間訓練計画に基づき計画的に実施し、訓練を通じて資器材の精通と維持管理を行った。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	適正に資器材の点検を行い、訓練、研修を行った。プレアライバルコールを有効活用して傷病者の状態の確認や現場へのルート確認など、現場での聴取にかかる時間を短縮させ、現場活動の効率化を図ったが、コロナ禍のため、医療機関から求められる情報は多く、病院連絡時間の延長、また感染予防対策の徹底から出場時間を要すなど、現場到着時間及び病院収容所要時間が延伸したと考えられる。
			評価者 花園消防署 救急係長 茂木健男・内田桂吾

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	コロナ禍の影響もあり、効率的に進まない状況ではあるが、現場活動では、タブレット端末を活用し各医療機関の収容状況等を検索して、適切な病院選定を行っている。事務処理や研修等については今後ICTの活用により、分署間のやり取りや合同訓練等が効率的に行え業務改善に繋がる。
			評価者 花園消防署 救急係長 茂木健男・内田桂吾

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	新型コロナウイルスの流行を受け、今まで以上の感染予防対策が必要となっている。感染予防対策を所管している厚生労働省からの指針を参考とし、引き続き現場活動において隊員が感染しない、させないように対策をする必要がある。
達成状況及び その効果	すべての事案に対して新型コロナウイルス感染症を疑い、感染防止の徹底を図り活動した。また、新型コロナウイルス感染症を疑う傷病者を搬送した際は、帰署後、救急車内及び使用資器材の消毒を徹底した。結果、活動に起因する新型コロナウイルス感染症に罹患した職員は発生しなかった。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	救急活動事務	担当課	花園消防課	担当係	花園消防署	管理番号	4525
<div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div> <div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div> <div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div> <div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div> <div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div>		評価の内容説明					
		継続して全ての事案で、あらゆる感染症を疑い活動中は感染防止対策を徹底する。また訓練や研修を通じて傷病者に応じた活動を検証し、現場滞在時間短縮に努める。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	花園消防署長兼花園消防課長 小暮 誠				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	新型コロナウイルス感染症が広がっているため、継続して全事案、新型コロナウイルス感染症を疑い活動中は感染防止対策を徹底し、帰署後は消毒を実施する。また、病院収容所要時間が延伸傾向にあるため、訓練や研修を通じて傷病者に応じた活動を検証し、現場滞在時間短縮に努める。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	令和4年度に更新された救急車両及び救急資器材について使用方法の精通と維持管理の精査を実施する。また、現場活動データを基に検証を重ね、さらには訓練を通じて傷病者に応じた有効な活動に努める。

8. 評価指標グラフ

